



平成22年(2010年)  
5/20  
第1223号

発行：小平市  
編集：都市建設部  
水と緑と公園課  
〒187-8701  
小平市小川町二丁目  
1333番地  
☎042(341)  
1211(代表)

# 市報 こだいら

## みどりの基本計画 2010特集号

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール [info@city.kodaira.lg.jp](mailto:info@city.kodaira.lg.jp)

# 小平市みどりの基本計画2010を策定

水と緑のまちづくりの目標 小平市のみどりの将来イメージ

### やさしく歩ける水と緑の美しいまち



### 策定の目的

小平市みどりの基本計画2010は、都市緑地法第4条に基づいて策定する小平市の都市公園の整備や雑木林などの保全、住宅地などの緑化の推進に関する基本計画です。そして、将来の小平のみどりの総合的な整備・保全の方針を定め、計画的かつ体系的に講じることにより、その効果をより高めることを目的としています。

### やさしく歩ける水と緑の美しいまちとは

市内は、7つの駅からなる市民生活圏を全長21kmの小平グリーンロードが結んでおり、歩いて一周することができます。また、小平グリーンロードを起点にして、小さな用水路沿いの散策路や畑の脇の小径を巡りながら、市内のどこにでも歩いて行くことができます。この歩けるまち、用水路のあるまち、緑の豊かなまちという特徴をさらに活かして、花と緑を楽しみ、水を巡りながら気持ちよく歩くこと。このようなみどりの将来イメージを、水と緑のまちづくりの目標として「やさしく歩ける水と緑の美しいまち」としました。

この計画では、なるべくわかりやすい言葉を使い、用語の説明を充実するとともに、小学校高学年や中学生向けの「よくわかる小平市みどりの基本計画2010」を作成し、資料編として掲載するなど、より多くの市民に理解しやすいように努めています。

## 水と緑のまちづくりの基本方針

### 基本方針1 みどりを つなげる

小平をほぼ一周するみどりの帯である小平グリーンロードを基点に、市民の身近なところまでみどりのネットワークを形成して、市内を網の目のようにみどりにつないでいきます。

### 基本方針2 みどりを いつくしむ

小平には、玉川上水と多くの用水路、新田開発時から続く雑木林、屋敷林、農地・寺社・史跡と一体となったみどりなどがあります。このような武蔵野の面影を残すみどりを大切に、次代へと引き継いでいきます。

### 基本方針3 みどりを ふやす

市民・事業者・行政が、ともに身近なところからみどりを増やしていき、市内のどこからでもみどりが見えるようなまち、ふだんの暮らしの中でみどりと触れ合えるまちをつくりまします。

### 基本方針4 みどりを そだてる

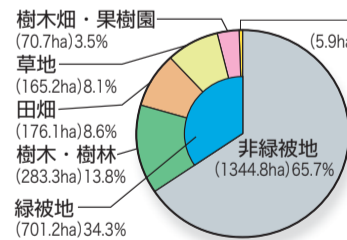
今あるみどりの質を高めて活かし、武蔵野らしい風景を維持しながら、人にも、多くの生き物にもやさしい質の高い快適なみどりとして育てていきます。

### 基本方針5 みどりを いかす

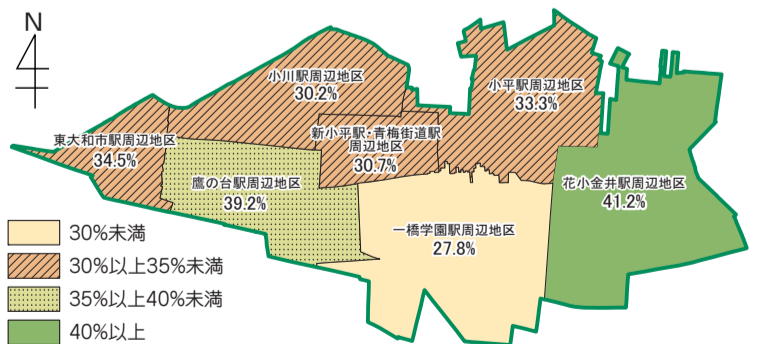
みどりがもたらす豊かな暮らしは、すべての市民が受けています。この誰もが大切だと思っているみどりを、市民がみずから育て、市民が主役となって守り、人の輪をはぐくんでいく仕組みをつくっていきます。



## 小平市のみどりの現況



平成18年(2006年)4月～5月に撮影した空中(航空)写真を基に、植物に覆われた緑被地がどれだけあるのか調べたところ、市内の緑被地は701.2haあり、緑被率は34.3%でした。



市では、主要な駅を中心に市内を7地区に区分しています。地区ごとに緑被率を算出したところ、地区別の緑被率は、一橋学園駅周辺地区の27.8%から花小金井駅周辺地区の41.2%までの間にあり、一般に目標とされる30%に近いか、または超える値を示しています。特に、花小金井駅周辺地区や鷹の台駅周辺地区は緑被率が高くなっています。

## 小平市みどりの基本計画2010策定までの流れ

